

広島かきへい死アラート（3海域への厳戒アラート発信）について

1 要旨・目的

7月から発信しているへい死アラートについて、9月9日（水）に溶存酸素濃度、9月16日（水）に水温に関する警戒レベル3の厳戒アラートを発信したことを報告する。

2 現状・背景

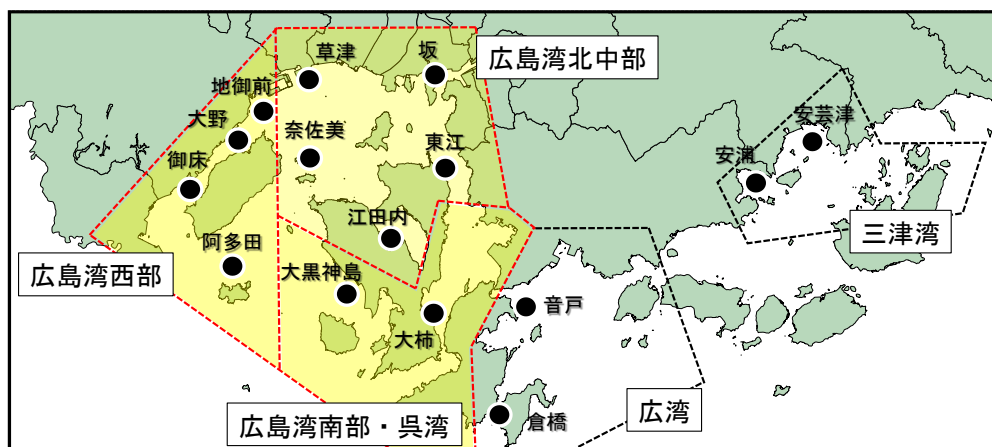
本年度の広島かきのへい死対策として、海域毎（県内5海域）に、へい死リスクが高まると想定される場合には、へい死アラートを発信している。

へい死リスクの警戒レベルを発信する基準や対象海域（5海域）については、これまでの知見をもとに生産者団体（広島かき生産対策協議会）と協議のうえ設定しており、その基準値を超えた場合、水産プラットフォームを通じて、漁業協同組合や生産者にアラートを発信し、生産者に早期対応を促すこととしている。また、水産プラットフォームに登録していない生産者に対しては、FAXなどにより所属する漁業協同組合から情報提供している。

3 概要

（1）発信日及び対象海域

発信日	対象海域	発信内容
令和8年9月9日（水）	広島湾北中部	区分：溶存酸素 警戒レベル：3（厳戒）
令和8年9月16日（水）	広島湾北中部 広島湾西部 広島湾南部・呉湾	区分：水温・身の状態 警戒レベル：3（厳戒）



「国土数値情報（行政区画データ）」（国土交通省）
(<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N03-2026.html>) を加工して作成

(2) アラート発信状況 (9/16 現在)

上記3海域は水温が下降期であり、かつ、へい死リスクの高い成熟状態のかきがモニタリング調査で確認されたことで警戒レベル3に達した。

●アラート発信状況

海域	基準	7月17日	7月22日	7月29日	8月5日	8月12日	8月19日	8月26日	9月2日	9月9日	9月16日
広島湾北中部	水温×身の状態	注意	注意	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	厳戒
	溶存酸素 (DO)	注意	リスク低	警戒	注意	注意	注意	注意	警戒	厳戒	厳戒
広島湾西部	水温×身の状態	注意	注意	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	厳戒
	溶存酸素 (DO)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
広島湾南部 ・呉湾	水温×身の状態	注意	注意	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	厳戒
	溶存酸素 (DO)	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低
広島湾	水温×身の状態	注意	注意	注意	注意	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
	溶存酸素 (DO)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三津湾	水温×身の状態	注意	注意	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
	溶存酸素 (DO)	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低

(3) へい死状況

9月14日(月)及び15日(火)に5海域(9地点)で実施した成育状況調査(海上調査)において、顕著なへい死は確認されていない。

成育状況調査(海上調査)

かき垂下連のへい死状況確認	むき身の確認
	 水かき 成熟状態 ※ 水温の下降期に成熟状態のかきは、へい死リスクが高い。

4 今後の対応

(1) 成育状況調査

- ・ 関係漁協にアンケート調査を実施し、定期的に成育状況の確認を行う(毎週水曜日〆切、金曜日集計)。
- ・ 月2回、現地調査(海上)を実施し、各海域における成育状況を調査する。

(2) 巡回指導

- ・ 生産者に対し、かきの状況を確認することや、成熟状態にある場合には、筏の移動、吊り手の操作などの産卵誘発を行うことなど、説明会(9月4日～9日実施)での対策を早期に実施、完了するよう指導を継続する。